

熊本県立装飾古墳館

施設管理者 : 熊本県
施設所在地 : 熊本県山鹿市鹿央町岩原 3085
調査見学時期 : 平成 5 年
施設概要

熊本県は、全国で 484 例発見されている装飾古墳（古墳の石室に彩色や彫刻をほどこしたもの）のうち 186 例を有する装飾古墳王国であり、山鹿市の中心部から車で 10 分程度のところの岩原古墳群の脇に県立装飾古墳館があります。

この施設は細川知事（現総理大臣）が推進した「くまもとアートポリス構想」に基づいて、建築家安藤忠雄氏の設計により平成 4 年 4 月に完成した半地下式のモダンな建物であり、館内には県内で発掘された 12ヶ所の石室や副葬品が展示されています。九州で最も美しいと言われる前方後円墳の双子塚と現代の建築家の作品が 1500 年の時を隔てて向き合った構図となっており、古墳時代と現在を自由に往復できるタイムマシンに乗った気分が味わえるスポットです。（GECニュース第 53 号より抜粋）



装飾古墳館から双子塚を望む